

第26回都島メディカル・カンファレンス

(Miyakojima Medical Conference)

平成30年9月29日(土) 午後3時から午後5時

会場：大阪市立総合医療センター さくらホール

本会は、医師会と大阪市立総合医療センターが近隣の診療所・病院勤務医師の先生方と、症例検討を中心にカンファレンスを行っています。

このカンファレンスを通じて診療レベルが向上し、相互の親睦も深まり、医療連携が促進されることで患者さんへより良質の医療を提供する一助となることを目的としています。

症例 「両側視床内側部梗塞の一例」

初期急病診療部 山口 奈々子

「髄膜炎を疑われた椎骨脳底動脈解離による脳出血の一症例」

総合診療科 山中 英樹

特別講演 「脳卒中初期診療Q & A」

脳血管内治療科

石黒 友也



脳血管内治療科副部長
石黒 友也

脳卒中は主に脳梗塞（一過性脳虚血発作を含む）、脳出血、くも膜下出血に大別され、いずれも疑われた時点で迅速な対応が必要となります。脳卒中の初期診療は詳細な病歴聴取とバイタルサインや神経症状の診察が基本で、これらの「こつ」を知れば、脳卒中かどうかは画像検査などを行う前にある程度正確に判断することができます。しかし実際の臨床では脳卒中との鑑別が困難な、当初は脳卒中が疑われたが最終的には他の疾患が原因であったもの－stroke mimics－や、逆に当初は他の疾患が疑われたが最終的には脳卒中であったもの－stroke chameleons－もありえます。

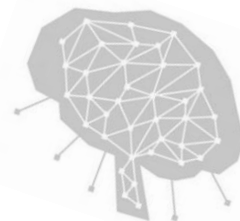
今回の講演では stroke mimics や stroke chameleons も含めて実際の症例を呈示しながら、脳卒中の初期診療の「こつ」を解説していきます。



総合診療科部長
後藤 仁志

今回は脳血管障害をテーマに選びました。日常診療の中でも特に緊急性を必要とする分野ですが、総合診療科には非典型的な症状で紹介いただく症例も多く教訓になった症例を提示させていただきます。

特別講演を臨場感をもって聴講いただくための一助になれば幸いです。



初期急病診療部部长
山田 明子

今回は意識障害で紹介された「両側視床内側部梗塞の一例」を提示させていただきます。地域医療機関の先生方には、常日頃病診及び病病連携にご高配いただき有難うございます。当科は当院に通院中の患者さんや地域医療機関からの紹介患者さんの成人内科系疾患の緊急診療に対応しています。診察依頼につきましては、緊急専用電話（平日の8時45分から20時まで対応）をご利用いただければスタッフが直接対応させていただきますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

申込書、案内図は、裏面をご覧ください。

第26回都島メディカル・カンファレンス（MMC）FAX申込書
大阪市立総合医療センター地域医療連携室
FAX 06-6929-0886

お手数ですが、枠内にご記入の上、FAXにてご送信ください。ご参加いただける方のお名前の記載をお願いします。

なお、誠に勝手ではございますが、**9月22日（土）**までにご返信ください。

参加者氏名		平成 年 月 日
①		職種
②		職種
③		職種
④		職種
施設名		
施設所在地等	TEL	FAX

【案内図】



大阪市立総合医療センター 3階 さくらホール
 大阪市都島区都島本通 2-13-22

最寄り駅

- 大阪メトロ（谷町線）都島駅 2番出口から西へ徒歩3分
- JR西日本（大阪環状線）桜ノ宮駅 東出口から北へ徒歩7分

【事務局】

総合診療科 後藤 仁志

初期急病診療部 山田 明子

お問い合わせ：地域医療連携センター 藤井・藤本

☎06-6929-3633（直通）